

2020年度事業報告書

特定非営利活動法人 ぱっぷす

1 事業の成果

①. AVや性産業に取り込まれた人などへの相談支援事業

2020年4月以降、外出自粛要請やステイホーム週間の呼び掛けで、在宅で過ごす人が増えたことから、デジタル性暴力の被害相談が急増した。2020年4月～2021年3月末の時点で281件であった（前年度は総数182件）。主な相談内容は、インターネット上における性的画像記録拡散被害が大半であった。

今年はコロナ禍ということもあり、相談者の中でも、性風俗産業に従事しながら生活困窮に陥る相談者が出たことから、「今都内にいて、夜のしごと、性風俗で困っている女性へ」というアウトリーチ活動をインターネット上で行い、相談を寄せられた方に対しソーシャルワークを実施した。合計2名が生活再建に至った。

また、Zoom等のオンラインコミュニケーションツールを活用し相談支援にあたることも多かった。

②. 研修会やシンポジウム開催による社会啓発事業

コロナ禍により2020年4月以降の講師派遣のほとんどが中止になったが6月以降、Zoomを活用し、10月以降は3密を避けながら現地での講演を計12か所で行った。講演活動を通じて、新規被害相談に繋がったケースも3件ほどあった。今後は、講演活動を通じたアウトリーチの有効性について検討していきたい。性暴力被害相談を受ける団体のケース会議において、デジタル性暴力のケースの対応方法について講師として招かれたこともあり、デジタル性暴力被害の関心度の高さを知ることができた。

その他、当団体が所属しているJNATIP（人身売買禁止ネットワーク）において、関係府省庁の担当者との意見交換を行った。本意見交換後、刑事事件化に向けて捜査が行われたケースもあった。また、東京弁護士会民事介入暴力特別委員会との交流、当団体が所属している刑法改正市民プロジェクトへの参加、民間支援団体・就労移行支援団体との意見交換を通して、性的搾取・デジタル性暴力の現状と対策について訴えた。性的画像を撮らせないスマートフォンの開発をOSベンダーに働きかけるキャンペーンを展開した。国際連携では、中国・韓国・台湾とデジタル性暴力に関する予防啓発の連携を行った。米国 Exodus Cry等が主催するTrafficking Hubキャンペーンでは、当団体は日本国内のキャンペーン展開を行った。

性教育について、AVの制作過程や販売や拡散等によって多くの若年女性たちが性的同意を奪われているにも関わらず、AV業界団体が性教育界隈の人たちにかかり働きかけて、性教育者たちが誤ったメッセージ発信していることを憂慮し、2020年11月に「性的同意とAV勉強会」を開催し、今後の性教育のあり方や加害予防教育の必要性などを検討した。

③. 上記事業に関する報告書等出版事業

独立行政法人WAM助成事業として、「意に反して拡散した性的画像記録の削除要請事業報告書」を作成した。当団体活動報告書は2021年9月に刊行予定。

④. ネット・メディアによる広報活動

デジタル性暴力・性的搾取に関する出来事・月間等があるときに、主要メディアから取材を受けるようになった。ホームページ「デジタル性暴力被害者支援センター」を開設し、デジタル性暴力に特化した相談窓口を設置した。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

定款に記載された事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者人数	受益対象者範囲	受益対象者人数	事業費(円)
-------------	------	------	------	-------	---------	---------	--------

AVや性産業に取り込まれた人などへの相談支援事業	1. 相談支援事業 (性的搾取・デジタル性暴力)	365日24時間対応	相談者が相談しやすい場所・弁護士事務所等	常勤5名・非常勤6名・フリーランス6名	性的搾取・デジタル性被害を受けている方	500人 (新規相談281人)	12,700,000
	2. 性的画像記録の削除要請事業	通年	当団体事務所	常勤1名 非常勤5名		108人	9,780,000
	3. 性的画像記録の削除要請システム開発事業	通年	外注	外部委託1名			450,000
	4. カウンセリング等事業	通年	相談者が相談しやすい場所	常勤1名、非常勤1名	当団体に相談を寄せられた方	5人	50,000
	5. 就労支援・社会復帰事業	通年		常勤1名		2人	50,000
	6. 当事者(中学生・高校生・若年女性・大人)がアクセスしやすいシステム開発	通年	ウェブ等	常勤1ボランティア3名	性的搾取・デジタル性被害に遭われた方	181人	500,000
人権侵害や性暴力にたいやすい知的等障害を持った人への支援事業	性暴力や性犯罪に巻き込まれたいやすい障害を持った人へのアプローチや支援を行う	随時	新宿歌舞伎町・オンラインによるアウトリーチ活動	常勤3人・パートタイム3人	生きづらさや障害を持った方。生活困窮者	200人	400,000
研修会やシンポジウム開催による社会啓発事業	1. 性被害の現状や課題を伝える		メディア対応は随時	6人		40人	500,000
	2. 出前講座の実施		出前講座は随時招聘があった毎に行う	常勤2人		500人	
	3. 性的搾取を無くすための加害予防教育に関するイベント		ZOOM	4人		20人	

実践を踏まえた調査・研究事業	相談事業等から見えてきた新たな問題を理論的活動として実践していく		当団体事務所等	6人	性被害にまつわる人権侵害に関心のある人		100,000
上記事業に関する報告書等出版事業	実践と理論活動の集約として当団体編著の単著の発行・活動にかかる出版を計画		当団体事務所等	9人		10000人	300,000
	活動報告書の作成			8人		1100人	300,000
	削除要請事業報告書及びカウンセリング事業報告書の作成	2020年3月発行		5人		400人	150,000
特定非営利活動に係る事業計							25,280,000

(2) その他の事業

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者人数	受益対象者範囲	受益対象者人数	事業費(円)
出版物等の書籍・物品販売事業	当団体や当団体の社員が関わって出版した書籍やシンポジウムの報告書等の販売	随時	イベント会場等	3人	性的搾取の問題に関心のある方		200,000
ネット・メディアによる広報活動	メルマガ配信	毎月	当団体事務所等	4人	国内外	不特定多数	300,000
	ツイッター配信	随時					
	フェイスブック配信	随時					
	インスタグラム	随時					
	多言語配信	随時					
	Google検索結果	随時					
(2) その他の事業計							500,000
(1) + (2) 総計							25,780,000

令和2年度活動計算書

特定非営利活動法人 ぱっぷす

(単位：円)

科目	特定非営利活動に係る事業		その他事業		合計
	金額	小計・合計	金額	小計・合計	
【A】 経常収益					
1 受取会費		681,100		0	681,100
正会員受取会費	123,100				
賛助会員受取会費	558,000				
2 受取寄附金		5,601,688		0	5,601,688
受取寄附金	5,601,688				
3 受取助成金等		23,922,000		0	23,922,000
受取民間助成金	23,922,000				
4 事業収益		0		956,336	956,336
事業収益（講師料）			945,916		
事業収益（書籍販売）			10,420		
5 その他の収益		15,925		0	15,925
受取利息	53				
雑収益	15,872				
経常収益計		30,220,713		956,336	31,177,049
【B】 経常費用					
1 事業費					
(1) 人件費		22,409,990		0	22,409,990
給料手当	19,670,090				
役員報酬	0				
退職給付費用	0				
法定福利費	1,976,836				
通勤費	763,064				
(2) その他経費		3,370,097		0	3,370,097
会議費	38,502				
旅費交通費	285,309				
通信運搬費	597,776				
消耗品費	762,317				
地代家賃	780,000				
保険料	3,990				
租税公課	2,100				
研修費	55,000				
支払手数料	89,150				
新聞図書費	1,870				
雑費	2,000				
印刷製本費	125,290				
謝金	143,073				
業務委託費	36,900				
減価償却費	443,333				
広告宣伝費	3,487				
事業費計		25,780,087		0	25,780,087
2 管理費					
(1) 人件費		650,000		0	650,000
役員報酬	0				
給料手当	650,000				
(2) その他経費		766,019		0	766,019
通勤費	26,857				
福利厚生費	12,980				
消耗品費	103,115				
通信運搬費	3,600				
地代家賃	360,000				
旅費交通費	0				
業務委託費	175,000				
租税公課	25,907				
支払手数料	58,560				
管理費計		1,416,019		0	1,416,019
経常費用計		27,196,106		0	27,196,106
当期経常増減額【A】－【B】・・・①		3,024,607		956,336	3,980,943
【C】 経常外収益					
	0				
経常外収益計		0		0	0
【D】 経常外費用					
	0				
経常外費用計		0		0	0
当期経常外増減額【C】－【D】・・・②		0		0	0
経理区分振替額・・・③					0
税引前当期正味財産増減額①+②+③・・・④		3,024,607		956,336	3,980,943
法人税、住民税及び事業税・・・⑤					70,000
前期繰越正味財産額・・・⑥					5,796,389
次期繰越正味財産額④－⑤+⑥					9,707,332

令和2年度 財産目録

特定非営利活動法人 ぱっぷす

(単位：円)

科	目	金額	小計	合計
【A】	資産の部			
1	流動資産			
	現金預金			
	手元現金	149,210		
	ゆうちょ銀行（総合）	3,694,291		
	ゆうちょ銀行（振替）	1,674,205		
	ゆうちょ銀行（WAM）	1,354,526		
	みずほ銀行	1,648		
	三菱UFJ銀行	25,686		
			6,899,566	
	未収金			
	仮払金	115,514		
			115,514	
	棚卸資産			
				0
	流動資産合計・・・①			7,015,080
2	固定資産			
	(1) 有形固定資産			
	車両運搬具			
				0
	什器備品			
				0
	(2) 無形固定資産			
	ソフトウェア			
	性的画像記録の削除要請システム	3,356,667		
			3,356,667	
	借地権			
				0
	(3) 投資その他の資産			
	敷金			
	事務所	150,000		
			150,000	
	長期貸付金			
				0
	固定資産合計・・・②			3,506,667
【A】	資産合計 ①+②			10,521,747
【B-1】	負債の部			
1	流動負債			
	未払金			
	freeeVisaカード	161,317		
	法人税	70,000		
	諸口	297,363		
			528,680	
	預り金			
	源泉徴収税	265,535		
	住民税	20,200	285,735	
	前受金			
	受取民間助成金			
				0
	流動負債合計・・・③			814,415
2	固定負債			
	長期借入金			
				0
	退職給付引当金			
				0
	固定負債合計・・・④			0
【B-1】	負債合計 ③+④			814,415
【B-2】	正味財産合計 【A】 - 【B-1】			9,707,332

令和2年度 貸借対照表

特定非営利活動法人 ぱっぷす
(単位：円)

科	目	金額	小計・合計
【A】	資産の部		
1	流動資産		
	現金預金	149,210	
	ゆうちょ銀行（総合）	3,694,291	
	ゆうちょ銀行（振替）	1,674,205	
	ゆうちょ銀行（WAM）	1,354,526	
	みずほ銀行	1,648	
	三菱UFJ銀行	25,686	
	仮払金	115,514	
	流動資産合計・・・①		7,015,080
2	固定資産		
	(1) 有形固定資産		
	(2) 無形固定資産		
	ソフトウェア	3,356,667	
	借地権		
	(3) 投資その他の資産		
	敷金	150,000	
	固定資産合計・・・②		3,506,667
【A】	資産合計 ①+②		10,521,747
【B-1】	負債の部		
1	流動負債		
	freeVISAカード	161,317	
	未払金	297,363	
	預り金(住民税)	20,200	
	預り金(源泉所得税)	265,535	
	前受金	0	
	未払い法人税	70,000	
	流動負債合計・・・③		814,415
2	固定負債		
	固定負債合計・・・④		0
	負債合計 ③+④		814,415
【B-2】	正味財産の部		
	前期繰越正味財産額		5,796,389
	当期正味財産増減額		3,910,943
	正味財産合計		9,707,332
【B】	負債及び正味財産合計 【B-1】+【B-2】		10,521,747